



2026 年 7 月 14 日

令和 8（2026）年度第 2 回定例記者会見

日時：2026 年 7 月 14 日（火）10:30～11:30
場所：豊橋技術科学大学 事務局棟 3 階大会議室

＜記者会見項目＞

- ① 「教員目線」から「学生本位」の教育へ大転換！
2027 年 4 月「学際共創課程・学際共創専攻」がスタート（別紙 1）
【豊橋技術科学大学 学長 若原昭浩】
- ② 「大失敗アワード 2026」絶望グランプリ ～失敗からの教訓をどう活かすか～（別紙 2）
【産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門 特定准教授 土谷徹】
- ③ 40 以上の研究室を一斉公開！
受験生向け「2026 夏のオープンキャンパス」を 8 月 22 日に開催（別紙 3）
- ④ 豊橋技術科学大学のロボット技術を一挙公開！
～TUT Robotics オープンラボ 2026～（別紙 4）
- ⑤ 中部気候変動適応ワークショップ in 豊橋（別紙 5）

＜本件連絡先＞

総務課広報・地域連携室

広報係 野本・高柳

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6568

**「教員目線」から「学生本位」の教育へ大転換！****2027 年 4 月「学際共創課程・学際共創専攻」がスタート****<概要>**

本学は、2027 年（令和 9 年）4 月より、現在の学部 5 課程・大学院 5 専攻から、「学部 1 課程・大学院 1 専攻（学際共創課程／学際共創専攻）」への改組を実施いたします。

現代の複雑な社会課題を解決するためには、従来の単一分野の専門性だけではなく、複数分野を横断する知識と実践力が不可欠です。本改組では「教員目線」から「学生本位」の教育へと大きく転換し、学生一人ひとりの目指す将来像に合わせたテーラーメイドのカリキュラム設計を可能にします。強固な専門性を維持しつつ、学問分野の枠を超えて実社会と協働する「学際共創（Transdisciplinarity）」アプローチにより、新たな解を生み出す次世代の高度専門人材を育成します。

<内容>**1. 改組の背景と課題**

高専教育の高度化や学生の志向の多様化が進む一方で、従来の課程・専攻ごとの縦割り教育システムでは、他分野の学修が難しく柔軟なカリキュラムを提供できないという課題がありました。社会からも学生からも「複数の専門分野を横断する知識や俯瞰的な技術力」が強く求められており、このニーズに応えるための改革です。

2. 縦割りを打破する「1 課程・1 専攻」体制

機械・電気・情報・化学・建設の 5 つの学問分野は存続させつつ、組織の壁を取り払い「学際共創課程（学部）」「学際共創専攻（大学院）」に統合します。これにより、自分の主たる専門分野の枠にとらわれず、複数の他分野の科目を横断的に学ぶことができるようになります。

3. 「未来起点教育」による、自分だけの「学びの地図」

新しい教育システムでは、学生が描く「理想の技術者像」という未来を起点とします。

- 80%の専門×20%の自由：授業数をスリム化して時間的な余白を創出します。主分野の専門性を 80%しっかりと固めた上で、残りの 20%の余白を利用して、将来に必要な「もう一つの知識」を自由に学ぶことができます。
- 伴走型の指導体制：一人で悩むことなく、毎学期の「カリキュラム面談」で指導教員と対話を重ねながら、独自の「学びの地図」を設計します。専門性が薄まることはなく、これまで通り専門性を証明する学位が授与されます。

4. 「学際共創（Transdisciplinarity）」とは

単に複数の学問分野を掛け合わせる「学際（Interdisciplinarity）」にとどまらず、企業や地域、一般の方々など対話・協働して、複雑な課題を解決し新たな知を創造するアプローチです。本学が目指すのは、まさにこの「学際共創」＝超学際的な教育であり、これを通じて新しい時代を切り拓く指導的技術者・研究者を輩出します。

本記者会見では、新課程・専攻がもたらす教育の具体的な変化や、学生の新たなキャリアパスの可能性について詳しくご説明いたします。ご多忙の折とは存じますが、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 高柳・野本 TEL:0532-44-6506

2027年4月からスタート！ 新しい課程/専攻「学際共創」について

学びの地図を共に描く、「未来起点」教育への転換

豊橋技術科学大学

学長 若原昭浩

国立大学法人
豊橋技術科学大学

◆ なぜ変わるのか（背景・課題）

「教員目線」から「学生本位」の教育へ
求められる人材像の転換が必要！

- ・ 高い専門性に加え、**柔軟な思考と広い視野**を持つ人材の養成
- ・ 複数分野を横断する **学際的な実践的能力** を持つ人材の養成



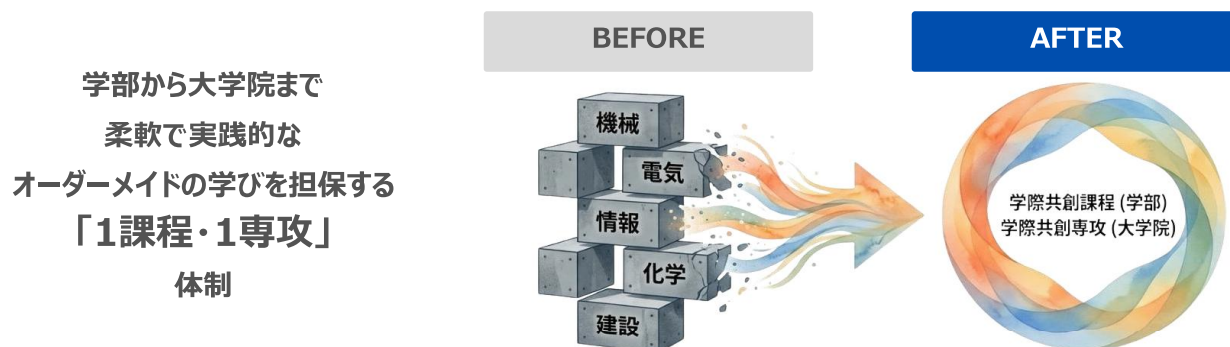
カリキュラムを柔軟にアレンジできる
新しい教育システムの導入

国立大学法人
豊橋技術科学大学

◆ 何が変わるのか（改組の全体像）

「学際共創：Transdisciplinarity」

本学の学際共創課程・専攻は、学問分野の枠を超えて、社会・地域・企業などの実践的な知と対話・協働して新たな知を創造するための教育組織であることを意味します。



5つの課程・専攻の壁を取り払い、シームレスで自由な「学びの地図」を描く

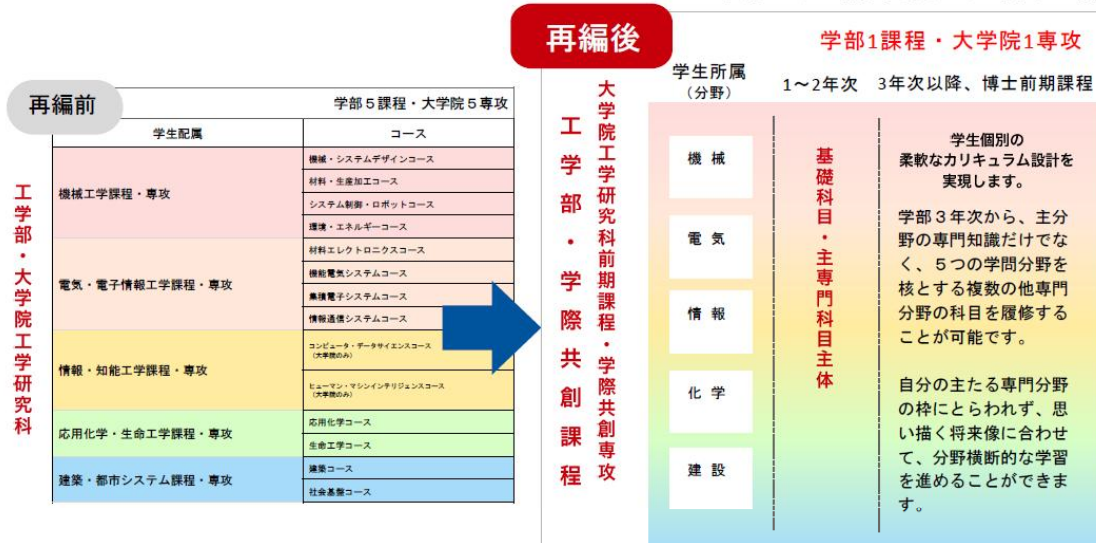
◆ どう変わるのか（変化の詳細）

令和9年度（2027年度）から実施予定

学際共創課程／学際共創専攻

専門分野の壁を超える分野横断的な学位プログラム

学部から大学院までを見据えた、
一人ひとりの成長を支える一貫した教育パス



◆ どう変わるのか（変化の詳細）

学際共創課程・専攻の4つの主な特徴



◆ どう変わるのか（具体例）

学部から大学院まで途切れない「実践型総合科目群」



「産学共修ものづくり研究」
×
「高度技術科学者育成特論」

地元協力企業からいただいたお題（テーマ）に、多様な分野の学部生と博士後期課程学生から成るチームが一丸となって立ち向かい、その解を「ものづくり」に落とし込む実践科目が、10月からプレスタートします。



2026年7月2日に、キックオフミーティング（企業による課題説明会）を開催しました。このプログラム詳細は、次回の定例記者会見にて発表予定です。

参考

本学が定義する「学際共創 : Transdisciplinarity」

複数の学問分野を掛け合わせる「学際」は一般的に「Interdisciplinarity」と訳されます。本学の「学際共創」は、英語名称で **Transdisciplinarity** と定義しています。

Transdisciplinarityを和訳すると「**超学際**」と訳されます。「超学際」は、単に複数の学問分野を掛け合わせる「学際」とは異なり、大学などの研究者だけでなく、一般市民や企業、行政などの多様な関係者も巻き込んで社会との対話を通じて複雑な課題を解決しようとするアプローチを指します。

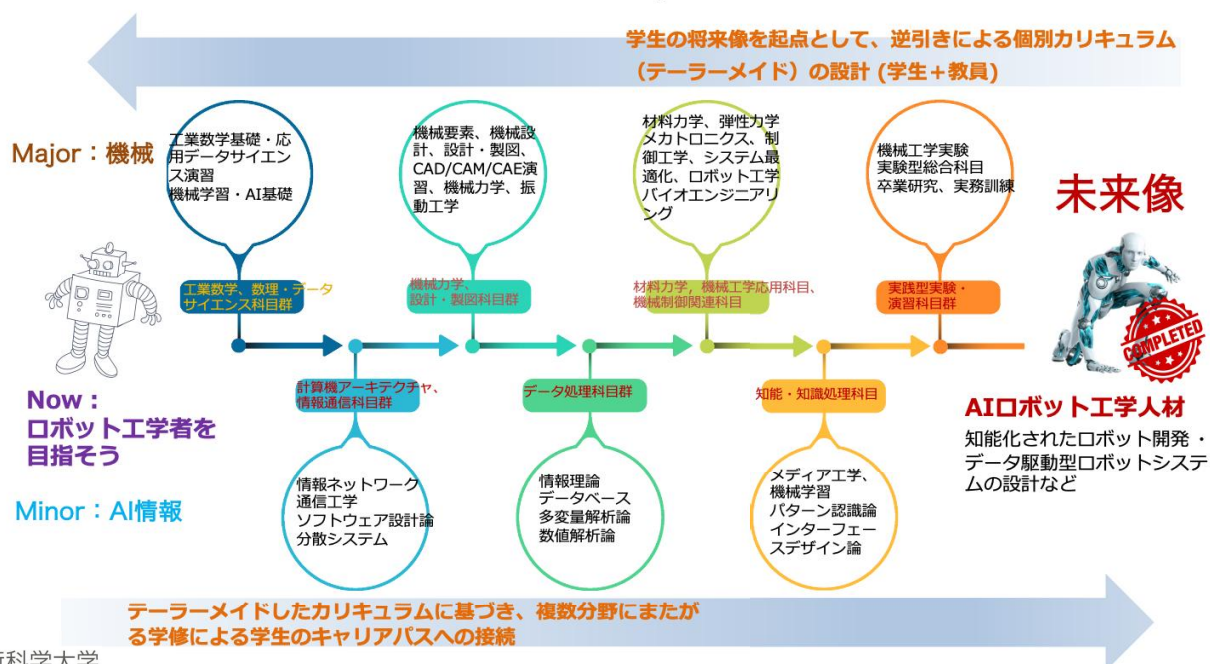
つまり、本学の**学際共創課程・専攻**は、**学問分野の枠を超えて、社会・地域・企業などの実践的な知と対話・協働して新たな知を創造するための教育組織**であることを意味します。

本学は、社会課題を解決する専門人材（Social Doctor/Innovator）である高専卒業生を主に受け入れ、技術科学に立脚した研究教育を通じて社会課題解決のための高度専門人材を養成します。国内外社会の大きな変化の中、そのミッション達成には、大学の枠を超え、実社会との対話による新たな知の共創、すなわち学際共創アプローチが必須となっています。今回の改組はこの要請に応えるものです。

国立大学法人
豊橋技術科学大学

参考

未来：AIロボット工学者⇒（Major）機械＋（Minor）AI情報



国立大学法人
豊橋技術科学大学

学際共創課程・専攻 紹介ウェブサイト





2026 年 7 月 14 日

「大失敗アワード 2026」 絶望グランプリ ～失敗からの教訓をどう活かすか～

<概要>

テーマ：「失敗からの教訓を、人生にどう活かすか」

近年、失敗が許される時代になり、若者が活動しやすい環境にあると思います。しかしながら残念なことに、失敗から学ぶような事例が生まれず、同じ失敗を繰り返したり、失敗を教訓に大きな成功、更にはイノベーションに必ずしもつながっていないと思われます。

今回、我々は「過去の盛大な失敗」と「そこから得た教訓・解決策」を競うコンテストを企画いたしました。過去の傷と教訓を共有し、楽しく語り合える場になると考えています。

<詳細>

日時：2026 年 10 月 3 日(土) 10:00～15:00 (9:30 受付開始)

場所：豊橋市公会堂大ホール

主催：産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

協賛：Tongali プロジェクト

参加対象：高校生、高専生、大学生

※原則として、学生対象のイベントで、年齢制限は設けていません

聴講対象：学生、(特に)民間企業の採用担当者、など(原則制限なし)

コンテスト・エントリー期間：8 月 1 日～9 月 7 日

聴講者募集締切：9 月 23 日(水)

表彰：

① 大失敗コンテスト：1～3 位、特別賞

② 「やらかし SHOT」コンテスト：1～3 位(聴講者の投票で決定)

コンセプト、想定効果

① 隠れた才能、隠れた人材の発掘

② 自虐ネタに終わらせない、失敗の教訓・学び

③ 自己分析・自己理解

応募はこちら ⇒



<今後の方針>

これから順次、詳細を詰めていきます。エンタメ性、学び、楽しさ、ユーモアに溢れるイベント設計を行って参ります。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 高柳・野本

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6568



産学共創キャリア教育センター
スタートアップ共創部門特別企画
**「大失敗アワード」
絶望グランプリ**

「失敗からの教訓を、人生にどう活かすか」

国立大学法人豊橋技術科学大学
産学共創キャリア教育センター
スタートアップ共創部門

土谷 徹

開催目的

近年、特に若者が挑戦しやすい環境ができつつあると思います。
失敗しても、また再挑戦できるようになってきていると思います。

しかし、、、、

- ◆ 同じ失敗を繰り返す
- ◆ 失敗してそのまま終わっている
- ◆ 成功につながっていない

そんな人も増えているのではないかと感じています。

開催目的

今回、我々は「過去の盛大な失敗」と「そこから得た教訓・解決策」を競うコンテストを企画しました。

過去の傷と教訓を共有し、楽しく語り合える場を提供したいと思えます。お気軽にチャレンジし、共に学びにつなげて欲しいと願っています。

コンセプト・想定効果

- ① 隠れた才能、隠れた人材の発掘
- ② 自虐ネタに終わらせない、失敗の教訓・学び
- ③ 自己分析・自己理解
- ④ 失敗からの立ち直り・・・人間関係、仲間、事例からの学び

豊橋技術科学大学 産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

イベント概要

日時 : 2026年10月3日(土) 10:00～15:00 (9:30受付開始)

場所 : 豊橋市公会堂大ホール

主催 : 豊橋技術科学大学

産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

協賛 : Tongaliプロジェクト

参加対象 : 高校生、高専生、大学生 など

※原則として、学生対象のイベントで、年齢制限は設けていません

聴講対象 : 学生、(特に)民間企業の採用担当者、など(原則、制限なし)

コンテスト・エントリー期間 : 8月1日～9月7日

聴講者募集期間 : 8月1日～9月7日

表彰:

① 大失敗コンテスト : 1～3位、特別賞

② 「やらかしSHOT」コンテスト : 1～3位(聴講者の投票で決定)

応募はこちらから ⇒



豊橋技術科学大学 産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

タイムテーブル(案)

9:00～9:50	会場準備	
9:30～10:00	参加受付	
10:00～10:10	ごあいさつ・イベント説明	
10:10～11:30	第1部	↑ 「やらかしSHOT」投票 ↓
11:30～12:20	休憩・昼食	
12:30～14:00	第2部	
14:00～15:00	審査委員会・表彰	
15:00～15:05	閉会のあいさつ	
15:05～15:50	撤収	
17:00～18:30	交流会(有料)	

豊橋技術科学大学 産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

学び、成果・効果に関して

1. 失敗の大きさ、または解決・改善策の難しさを知ると共に、立ち直ることの重要性について学ぶ
2. 失敗を失敗で終わらせないために、どうすべきかを学ぶ
3. 逆境から立ち直る力、仲間を作る(出会いの場)
4. 客観的な自己分析・自己理解能力を身につけると共に、個人の意外性、意外な才能に気づく
5. 単純に楽しい学び
6. 人材発掘の場(民間企業で採用を担当されている方、必見です)

豊橋技術科学大学 産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

今後の方針

これから順次、詳細を詰めていきます。

エンタメ性、学び、楽しさ、ユーモアに溢れるイベント設計を行って参ります。

応募申込はこちら ⇒



豊橋技術科学大学 産学共創キャリア教育センター スタートアップ共創部門

スタートアップ推進室特別企画

「大失敗アワード2026」 絶望グランプリ

テーマ:「失敗からの教訓を、人生にどう活かすか」



「過去の盛大な失敗」と「そこから得た教訓・解決策」を競うコンテストです。皆さま、お気軽にチャレンジし、共に学びに繋がましょう

Come and join us!



日時:10月3日(土) 10:00~15:00

場所:豊橋市公会堂大ホール

参加対象:高校生、高専生、大学生
※原則として、学生対象のイベント
で、年齢制限は設けていません

コンテスト・エントリー期間:8/1~9/7
聴講・観覧者受付期間:8/1~9/23



楽しさと学びの場

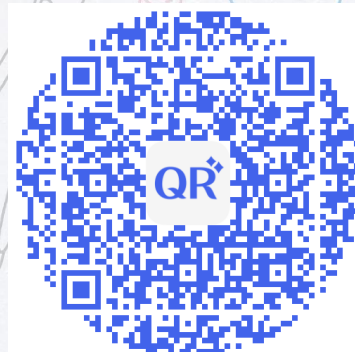
採用担当の方は是非!

主催:豊橋技術科学大学スタートアップ推進室
協賛:Tongaliプロジェクト

お申し込み・お問い合わせは
右記にお願いいたします

0532-44-1025

<http://www.siva.tut.ac.jp/>





40 以上の研究室を一斉公開！

受験生向け「2026 夏のオープンキャンパス」を 8 月 22 日に開催

<概要>

本学では、受験を検討している高校生および高専生を対象とした「2026 夏のオープンキャンパス」を、2026 年 8 月 22 日（土）に開催いたします。当日は大学概要説明や模擬授業に加え、本学の最大の特長である「研究室公開」を大規模に実施します。今年は 40 以上の研究室を一斉に公開し、実際の研究内容や大学でのリアルな学びを直接肌で感じていただけるプログラムをご用意しております。なお、本イベントは事前受付制となっており、詳細は特設ウェブサイトにてご案内しています。

<内容>

【背景・目的】

進路選択において、実際の大学の雰囲気や研究内容を直接体感することは、将来のビジョンを明確にする上で非常に重要です。理系人材への期待が社会的に高まる中、本学では、受験を検討している高校生や高専生の皆様に、具体的な学生生活や研究活動をイメージしていただくため、夏のオープンキャンパスを開催いたします。

【開催概要】

日時： 2026 年 8 月 22 日（土）9:30～16:00
対象： 受験を検討している高校生、高専生、保護者の方々
参加方法： 事前受付制（特設ウェブサイトよりお申し込みください）
主なプログラム： 大学概要説明、模擬授業、研究室公開など
詳細 URL： <https://www.tut.ac.jp/exam/applications/opencampus.html>

【本イベントの特長：40 以上の研究室による圧倒的な規模の公開】

本学のオープンキャンパスの最大の特長は、40 以上の研究室が一斉に研究内容を公開する点です。最先端の研究設備や日々の研究活動を間近で見学できる機会は、進路を検討する受験生にとって貴重な体験となります。教員や学生と直接交流することで、本学ならではの実践的な学びの環境をご体感いただけます。ぜひ実際に足を運んでみてください。

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 高柳・野本 TEL:0532-44-6506

OPEN CAMPUS

高校生・高専生
(受験生) 向け

豊橋技術科学大学 | オープンキャンパス 2026

魅せます、ギガダイのすべて。

2026.8.22 SAT

▶ 9:30~16:00 (受付開始 9:00)



<https://www.tut.ac.jp/exam/applications/opencampus.html>



多くの研究室・施設を 一挙公開!!



※イベント内容は変更する場合があります。 ※写真はイメージです。

要事前
申込

事前受付開始 ▶ 13:30~

2026.7.24



豊橋技術科学大学

豊橋技術科学大学 《総務課 広報・地域連携室 広報係》

☎ 0532-44-6506 ✉ kouho@office.tut.ac.jp

※災害、悪天候等により、各イベントの内容変更または中止となることがあります。
※車で越しの方は、学内駐車場をご利用いただけます。



(別紙 4)

国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2026 年 7 月 14 日

豊橋技術科学大学のロボット技術を一挙公開！

～TUT Robotics オープンラボ 2026～

<概要>

本学では、2023 年 4 月より次世代半導体・センサ科学研究所（IRES²）社会実装部門の人間・ロボット共生分野において、次世代ロボット技術開発とロボット技術の社会実装を進めております。本学のロボット関連技術全体を気軽に見ていただける機会として、研究室の一般公開を引き続き実施いたします。地域の企業、自治体の方々やご興味のある方にぜひご来場いただければと存じます。

<詳細>

日時：2026 年 9 月 24 日（木） 13:00～16:30

会場：豊橋技術科学大学

◆開会挨拶・全体説明 13:00～13:15

会場：A-114 講義室

人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系 教授 三浦 純

◆研究室公開 13:15～16:30

会場：学内各研究室（機械工学系、情報・知能工学系、次世代半導体・センサ科学研究所）
ロボコン同好会（NHK ロボコン出場ロボット展示）
学内講義室（情報集約場所、産学連携相談窓口）

◆開催概要／お申込み

↓こちらの Web サイトからご確認・お申し込みください。

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2026.html>

申し込み期限：2026 年 9 月 16 日（水）



本件に関する連絡先

担当： 次世代半導体・センサ科学研究所 社会実装部門人間・ロボット共生分野

E-mail openlab2026@robot.tut.ac.jp

オープンラボ 2026

学内講義室（情報集約場所，産学連携相談窓口）



中部気候変動適応ワークショップ in 豊橋

若い力で、
地域と気候の未来を
アップデート。

地域の 気候変動を考えた ワークショップ

健康×農業×まちづくり

学生や社会人が参加し、地域の気候変動適応に関する
講演や企業の取組事例から学び、ワークショップを通じて
地域における気候変動適応を考えます。

〈会場〉 豊橋技術科学大学サテライト・オフィス
(豊橋市駅前大通2丁目81 emCAMPUS EAST 5階)

〈定員〉 対面参加20名(先着順)

〔開催日時〕

2026年
7/22 水
13:30▶16:15



主催／環境省中部環境局
共催／豊橋技術科学大学
事務局・お問合せ／
株式会社都市研究所スペース（浅野）
株式会社長大（國井）
E-mail: chubu_adplatform@spacia.jp
TEL: 052-242-3262 (受付10～17時)

プログラム

13:00 開場

13:30~16:15 地域の気候変動を考えるワークショップ

開 会
趣旨説明

気候変動適応計画等について

講 義

知識の習得

講 演

島崎康弘氏／豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授

「人の快適性からみた身近な環境適応」

話題提供①

五十嵐優樹氏／(株)FDS 代表取締役

「異業種と連携！持続可能なビジネスの在り方」

話題提供②

豊橋市 環境部環境政策課

「豊橋市における気候変動の影響」

休 憩

ワーク
ショップ
&
発表

「健康×農業×まちづくり」

ファシリテーター：井村美里氏／水辺とまちの入口ACT(株) 代表取締役

- 地域の気候変動影響(困りごと)を洗い出し
- 具体的な課題(困りごと)への対応策の整理
- グループ発表

講 評

閉 会

講 師

Yasuhiro
Shimazaki



豊橋技術科学大学
建築・都市システム学系

准教授 **島崎 康弘氏**

2010年大阪府立大学工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。同年より岡山県立大学情報工学部助教に勤務し、2018年10月より現職。専門は環境工学、街やものの快適設計に従事。

講 師

Yuki
Igarashi



株式会社 FDS

代表取締役 **五十嵐 優樹氏**

2007年4月農林水産省に入省、2016年3月外務省在イスラエル日本国大使館等に出向し、2021年1月農林水産省を退職。同年2月株式会社Ferme du Soleil(現在の株式会社FDS)設立。数多くのメディア出演や講演を担当。

ファシリテーター

Misato
Imura



水辺とまちの入口
ACT株式会社

代表取締役 **井村 美里氏**

1992年名古屋市役所入庁、2017年水辺とまちの入口研究所共同代表。NPO職員等を経て2023年より現職。市民参加型ワークショップでのファシリテーター、官民協働や人材育成研修などの企画、講師として活動。

申し込み方法

2026年7月15日(水)までに右記のフォームからお申し込みください。

※フォームでのお申し込みが難しい場合は、①参加者氏名、②参加者所属、③連絡先メールアドレス、④気候変動適応に向けて関心があるテーマを「健康」「農業」「まちづくり」から1つ選んでご記載の上、事務局(chubu_adplatform@spacia.jp)までメールにてお申し込みください。



▲お申し込みフォーム